

学校だより



そ っ た く 『啐 啄』



大津市立瀬田中学校 校長 奥村 公英

寒中お見舞い申し上げます。旧年中は本校教育の推進に格別のご理解とご協力を賜り、誠にありがとうございました。今年もどうぞよろしくお願い申し上げます。

さて、昨年12月に世相を表す漢字に「令」が選ばれました。日本漢字能力検定協会によると、全国から募集した結果、1位が「令」で、日本漢字能力検定協会は「令」が選ばれた理由として新しい元号の「令和」に明るい時代を願う国民の思いが集約されたとしています。その他にも、法「令」改正、法「令」順守、警報発「令」、避難命「令」としても使われた年だったことなどが理由に挙げたと聞いています。清水寺の森清範貫主が「元号がかわり、皆さんの気持ちが新しくなったのではないかと思います。これからの時代も皆で仲よく、力を合わせて生きていかなければいけないと改めて感じた」とおっしゃったように、これからも絆を大切にしていきたいと思います。

さて、始業式でもお話しましたが、「一年の計は元旦にあり」とよく言われます。「その年の計画は元旦に立てるべきである。まず初めに計画を立て、事にあたるべきである」という意味です。生徒の皆さんもそれぞれに新年を迎え、「今年は」「今年こそは」と新しい夢や志を立てたことと思います。

夢をもつということは、心の中に、自分の生き方や学校生活での目標をもつということです。そして、志をもつということは、その目標の実現に向けて多少の困難にもくじけることなく努力する強い意志をもつということです。夢の実現のために志（強い意志）をしっかりとってほしいと思います。

夢や志を実現するためには、第一に「努力」です。日頃の努力なくして、夢は叶いません。第二に「粘り強く継続すること」です。やらされているのではなく、自分の志（強い意志）が必要不可欠です。そして、第三に「克己心（こつきん）」。多少の苦しいことや困難なことに対して感情を抑える強い心（克己心）が大切です。「努力する人は夢を語り、怠けている人は不満を語る。」と言われます。努力している人は、心のどこかに夢や希望を抱えて生きていると思います。一方で、怠けている人は怠けたいから、不満を探し、怠ける理由を見つけようとしているのではないのでしょうか。

3年生は、いよいよ進路決定の本番を迎えます。健康管理に充分気をつけ、悔いの残らないようベストを尽くし、実力を最大限発揮してほしいと思います。2年生も、あと3か月で中学校の最高学年が始まろうとしています。1年生は、今の学年をしっかりと締めくくり上級生に進級するための自覚をもち、今年度の総仕上げをする大切な学期になります。

今年は今のところ暖かい日が続いていますが、例年、3学期は一年中で最も寒い日が続く時期です。「冬来たりなば、春遠からじ」。寒さ厳しい中にも、その冬の後には、明るい希望の春がやってきます。つらい時期を耐え抜けば、幸せな時期は必ず来るといったとえです。

己に厳しく、夢に向かって大きな志をもち、努力を継続すればやがて希望の春がやってきます。



（瀬田学区自治連合会様から頂いた鏡餅）

給食が始まりました。



1月9日（木）に給食が始まりました。私は45年ぶりの給食をおいしくいただきました。

本日の献立は、「麦ごはん、牛乳、さわらの更紗揚げ、じゃがいものそぼろ煮、五目あんかけ汁」でした。早い時期から給食開始に向けての準備として、配膳等のシミュレーション、想定されるトラブルの事前対策に向けた会議等を行ってきました。それが功を奏し、初日は無事に給食を開始することができました。

生徒の皆さんは手際よく準備をし、「いただきます」の号令のあと、楽しく給食を食べていました。生徒の皆さんからは、「おいしかった」「量もちょうどよかった」などの感想を聞くことができました。明日からさらに手馴れてくると準備や後片付けにかかる時間も短縮されることと思います。今後も「安全で、おいしく、楽しい給食」の時間になるとよいと思います。



おめでとう

- ・第63回滋賀県学生科学賞県展 優秀 樋口 幸陽
- ・第63回滋賀県学生科学賞県展 出品 三好愛次朗
- ・大津市科学作品展 優秀賞 樋口 幸陽
- ・税についての作文
 - 滋賀県納税貯蓄組合総連合会 優秀賞 上田 舞音
 - 滋賀県納税貯蓄組合総連合会 優秀賞 北折 希衣
 - 大津市教育委員会教育長賞 川上 凜歩
- ・関西ドラムコンテスト 第1位 青山 真大
- ・青少年読書感想文コンクール 湖西湖南ブロック 特選 荻下 獅恩
- ・第22回中学生広場「私の思い2019」大津市広場 優秀賞 關 彩花
- ・滋賀県アンサンブルコンテスト 金賞 打楽器 長谷 光華 木皮 愛弓 青山 真大
- ・滋賀県マシンローイング大会
 - 男子 第2位 向井 悠人
 - 女子 第1位 泉野 穂乃香
 - 第2位 楠瀬 ころろ

